

ロージナ大茶会 2009 師走 「ねとすた落選まつり」資料

【民主主義の本質】

A. 民主主義の肝は基本的にそこに属する人達が”しょうがないなあ”と思えるかどうかだと思います。現状に不満を持っている人も具体的な対案あつての不満ではなく、当事者になってないから不満を言っている人が大半じゃないかと。

B. 実際に一般意思 2.0 なるものが実施された場合、雑多な意見の中から「一般意思」を見立てる権力者は誰なのでしょう。

【直接民主制のアイデア】

A. 政治家個人が専門家を後ろ盾にしてネットワーク上に簡単に動議を出して一定以上の賛成を得られたら効力をもつようにすると政治家がうさんくさい事やっていたらネット上の多数決で証人喚問したり dis ったりできるとか限定的なものなら可能だろうし効果的かも。

B. > 僕はこれに大賛成で、今まで人間が引き起こしたミスばかりなのでマシーンに預けてしまおう、というのは非常にシンプルかつ合理的です。

マシーンを人間が設計して運用、関与していく時点でミスが起きない保証がどこにあるのか僕には謎ですが…

C. > 情動に支配され極端になりがちな参加者の判断をどのように安定して一貫したものとするのか？

工学系の人だったら誰もネガティブフィードバック(進行方向と反対側にハンドルを切るような操作)を考えるとと思うのですが、人文系の人にはマイナーな概念なのでしょうか？それとも、その実現が難しいという話なのでしょうか？

D. (a)参議院廃止して議員定数の何分の一かをネットワークによる直接民主制枠にしてほどよく抽象化しつつも常時政治参加できて今よりはデリケートに意見反映できるシステムをつくるとか、どの政党にも属してない議員は議員権限使って個人でできる範囲以外国会では座っている事しかできない現状が、組織的な後ろ盾をもっていない有能な人や、若い人の政治参加を阻害している気がするので、(b) 個人でネットワーク上に動議だして何割かの支持を得られればある程度の効力を持てるようにすると比較的組織に依存しない勢力ができておもしろいんじゃないかなあと…。

⇒ 【キャラクラシーについて】

【発言への重み付けについて】

A. 貴族等旧家、知識階級、富裕階級これらが長期的利益を代表すると仮定した上で、発言力に「重み付け」をさらに付与する必要性は感じません。既に「重み付け」が存在するからです。総統と私が全く同じ「愚民政府論」を同じ方法で発表しても知識層の総統は注目されますが、私が同等の注目を集めることはありません。旧家、知識層、富裕層それぞれの発言には「心理上の重み付け」が自動的に付与されています。

【教育の可能性について】

A. どのように長期的利益を繰り込むのかですが長期的利益を政治が説いてこなかった点、また教育特に義務教育で長期的利益、長期的公益をほとんど織り込んでいない点を解決するのが必要だと感じます。

B. 教育がなっていない、という議論はずっとなされてきて、それで全然事態が変わっていないのを見ると、義務教育に期待することがそもそも望みの薄い賭けのような気がします。

【キャラクラシーについて】

A. つまり「初音ミク」という一般意思的なものを実際に利用するに際して、誰も明確な実態を把握しきれず、それが何なのか、主張できない。しかし「クリプトン」という「権威」がプラグマティックに（実際の、単に利便性がよいと言う理由で）設定されることによって、皆がそのミクを利用できるようになる。

で、これを読んで閃いたのは、総統がプレゼン資料の中で仰っていた、「法の存在こそ一般意志の現れである。法すなわち一般意志は個別特定の問題に対して作用せず、一般的に作用する。」ということが、つまり、このミクとクリプトンの間柄に当たるのではないか、ということです。

つまり一般意思抽出のメカニズムも大事だが、一般意思を一般的に作用させるためには、立法を通じてプラグマティックな「権威」を設定する必要がある・・・

B. 動画見ながらグーグル IME みたいな仕組みでデータベース上の人々のコミュニケーション傾向やユーザーがうちこんだテキストとかの内容からかってに人格形成していくデスクトップマスコットとかできたら面白いなあと妄想。

以上